

社会福祉法人 さかき会

発行元

社会福祉法人 さかき会
理事長 横内 正彦
〒400-0312
山梨県南アルプス市上宮地1143
TEL:055-283-7733
FAX:055-283-7735
E-mail:mirai@sakakikai.com

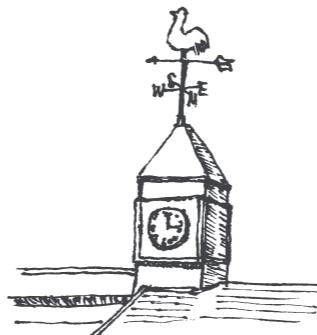
あなたらしく生きるしあわせ。



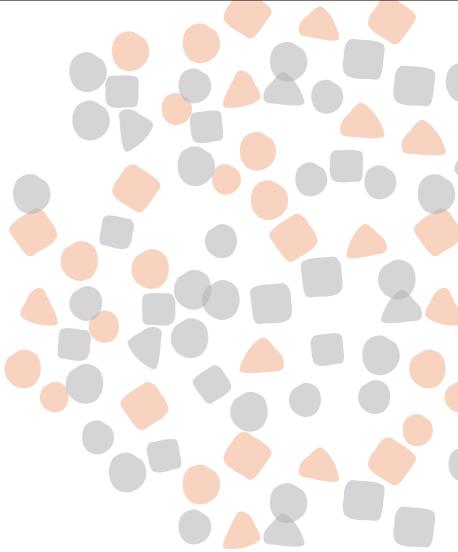
SAKAKIKAI



『こんぱにい』20周年記念合併号



SAKAKIKAI
20th
Anniversary



シアワセかさね、ともにつくるミライへ。



障害福祉サービス事業所

『みらいコンパニー』
〒400-0312
山梨県南アルプス市上宮地1143
TEL/FAX 055-283-7733 FAX 055-283-7735
✉ mirai@sakakikai.com

共同生活援助

『みらいホーム』
〒400-0222
山梨県南アルプス市飯野3574-8
TEL/FAX 055-283-7733
✉ mirai@sakakikai.com

放課後等デイサービス

『あそば』
✉ asobo@sakakikai.com
〒400-0308 山梨県南アルプス市山寺1095-5 TEL/FAX 055-283-7754

障害福祉サービス事業所

『みらいファーム』
〒409-3861
山梨県中巨摩郡昭和町紙漉阿原1808-2
TEL/FAX 055-275-6555
✉ mirai-farm@sakakikai.com

相談支援事業所

『ばけっとはうす』
〒400-0308
山梨県南アルプス市山寺1095-5
TEL/FAX 055-225-4478
✉ pocket@sakakikai.com

日中一時支援事業

『でんでんはうす』
『ばけっとはうす』
✉ asob@mirai-farm.com
〒400-0308 山梨県南アルプス市山寺1095-5 TEL/FAX 055-283-7754

福祉有償運送

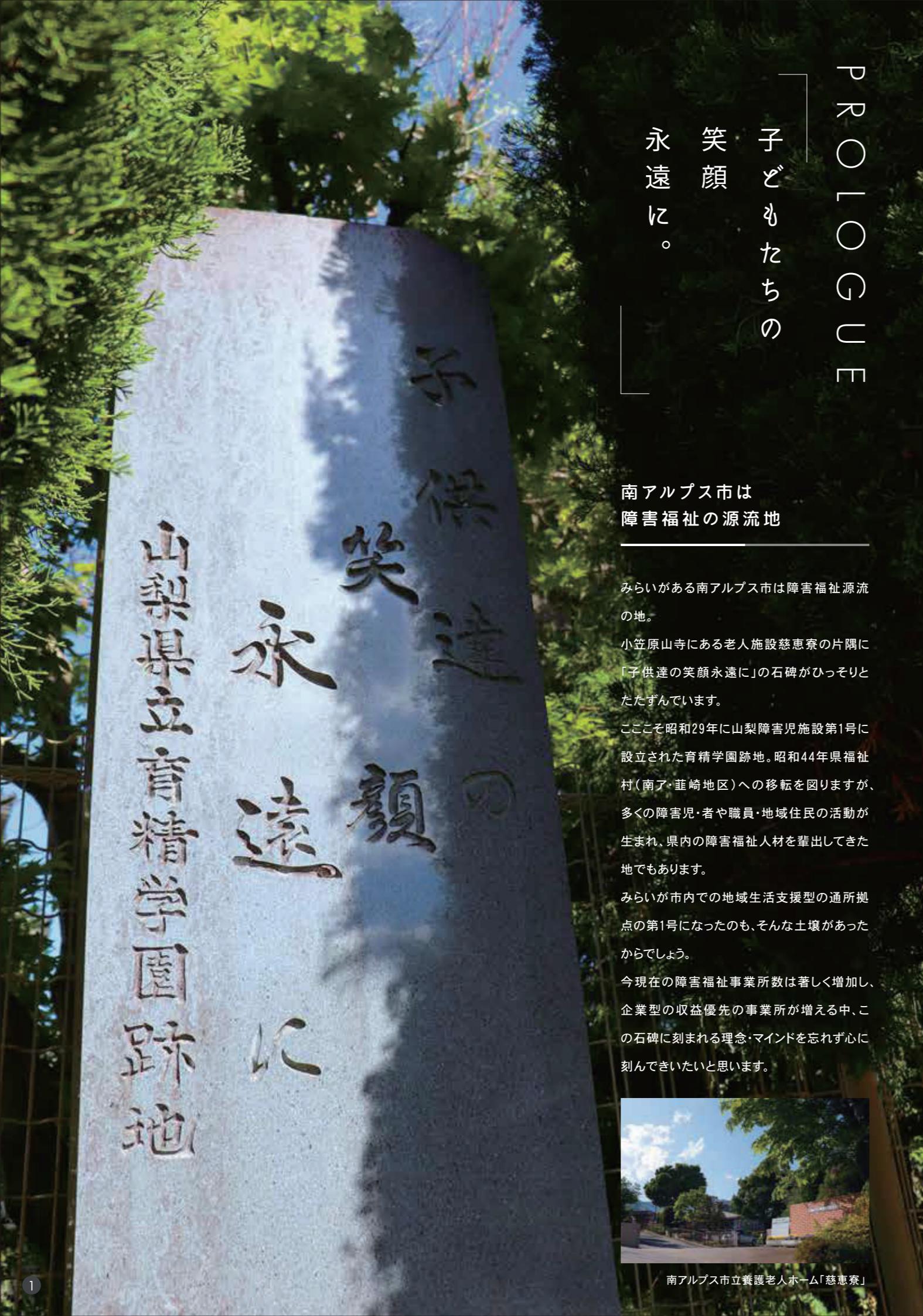


社会福祉法人 さかき会 20周年記念誌

サイトからもご覧いただけます。



さかき会Webサイト
<http://sakakikai.com/>



子
ど
も
た
ち
の
笑
顔
永
遠
に
。

南アルプス市は 障害福祉の源流地

みらいがある南アルプス市は障害福祉源流の地。

小笠原山寺にある老人施設慈恵寮の片隅に「子供達の笑顔永遠に」の石碑がひっそりとたたずんでいます。

ここぞ昭和29年に山梨障害児施設第1号に設立された育精学園跡地。昭和44年県福祉村(南アルプス地区)への移転を図りますが、多くの障害児・者や職員・地域住民の活動が生まれ、県内の障害福祉人材を輩出してきた地でもあります。

みらいが市内での地域生活支援型の通所拠点の第1号になったのも、そんな土壌があったからでしょう。

今現在の障害福祉事業所数は著しく増加し、企業型の収益優先の事業所が増える中、この石碑に刻まれる理念・マインドを忘れず心に刻んできたいと思います。



南アルプス市立養護老人ホーム「慈恵寮」



地域・人権・多様性が蓄積された場。

障害福祉のキーワードは「地域・人権・多様性」と言われています。

南アルプス市を中心とした峡中地域こそそれが蓄積された場になりました。

愛育・民生住民活動での障害受容の土壤や、

果樹・養蚕農家の働き手の不足や遊休農地の増加、

地元農家が作業小屋を利用し転換した下請け工場の障害事業所との様々な連携が授産作業ニーズを生み出し、「他者を受け入れていく土壤」が生まれました。

今、この地域は医療や福祉の支援拠点を受け入れ、

地域生活を実現できる障害者割合の高い場になってきました。

みらいは多くの関係者の汗と涙の経験を引き継ぎながら、

「多様な選びが可能な地域での人と人のふれあいのために」、

これからも家族と友達に囲まれ、自由な行動と判断が保障されるよう

地域ニーズを地域と共に創り、育んでいきたいと、

私たちはそう思うのです。



みらいの専門性「他者連携型」の大切さ。

私たちの活動はそれは足元の「自己完結型」ではなく、地域「他者連携型」の考え方を大切にし、設立当初から「地域とどのように接し、活動をつくる」ことに取り組んできました。

つまり「外に出かけ、多様な活動する」こと。

農福連携事業などを含め、最近は他施設・事業所でも見かけるようになりました。

職員の専門性は「地域活動」ともいえます。その考え方を具現化したのが

仏語で「仲間たち」を意味する「コンパニー」でした。

みらいが目指す「良き支援は良き支援計画から」を具体化する学習の場「ケース検討会」を設け、地域と共に成長できる高い志(コンパニー)を持てる人財の育成に取り組んでいます。



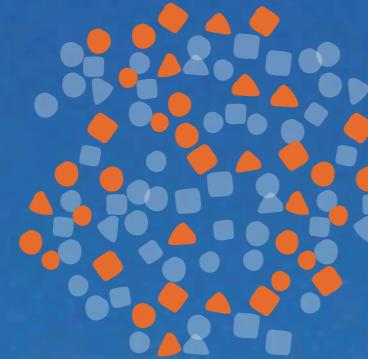
遊休地を利用したオリーブ畑。南アルプス市を一望できる。

サイトからもご覧いただけます。



さかき会Webサイト
<http://sakakikai.com/>

地域と共に
活ける。



SAKAKIKAI
20
Anniversary

- ▲ プロローグ
- 01 みらいのお話 理事ごあいさつ
- 03 法人理念 / コーポレートアイデンティティ
- ◆ 創業章
- 05 理事長ごあいさつ
- 06 総合施設長ごあいさつ
- 現在章
- 07 その人らしく生きるしあわせ
- 09 福祉と歩む
- 11 「さかき会の事業・施設紹介」
11 みらいコンパニー / 12 みらいファーム / 13 でんではんはうす
14 あそぼ / 15 みらいホーム / 16 ぽけっとはうす
- 17 「しあわせの樹」みんなの感謝のことば
- みらい章
- 19 「みらいはつくるもの～次世代対談～」
- 21 「みらいのちず」シアワセかさね、人がつなぐミライへ

法人理念(使命)

「しあわせの創造を地域と共に」

しあわせとは、その人自身の中に存在するものであり、その人が感じるものである。

人は誰もが自分が人生の主人公であることを念頭に、

その人自身のしあわせを目指すためには、

その人に適したどんな福祉サービスが必要かを常に考え、

必要とあれば既存の制度の対象とならないサービスでも

「地域と共に創造して行くこと」を使命とする。

経営理念

- 1.人間としての尊厳と社会連帯の思想を基本とし、公平公正な法人運営に努める。
- 2.進んで研修研究に努め、社会の発展に応じた広い視野を持って経営に当たる。

経営方針

- 1.民間社会福祉事業としての先駆性・独自性に努める。
- 2.広く法人・施設等の機能を挙げて、地域福祉の充実発展に寄与する。
- 3.職員の資質の向上を図ると共に勤務条件の改善に努める。
- 4.福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図る。

シアワセかさね、人がつなぐミライへ。



SAKAKIKAI
SINCE 1999

全体のシルエットと色は昇る朝日(ゴロワの鶏)と

今まで築いてきた創始者の思いと歴史を、

ロゴ内の法人の建物に掲げられている風見鶏の建物は

各々の個性、幸せを調和していく人たちの心を、

創始者の意志を継承し、これからも「時代」に流されず、

「次代」を築いていく強い姿勢を象徴しています。





理事長
横内 正彦



創立のきっかけは何ですか?
必然であった3つの
「想い」の出逢い

25年前、盟友の栗原義彦氏と現総合施設長である栗原早苗氏夫妻との雑談中、夫婦の「障がい者のため理想的な施設がしたい」想いを知りました。

当時、私には他界しましたが障がいを持つ長男がいました。県福祉職員であり、障害を持つ子の親として「障がい者やその家族の立場に立った施設を作りたい」強い想いがありました。私たちの障がい者やそのご家族に対する「想い」が一致したのがきっかけでした。

立ち上げに向か、「こぶし授産園」の創設と同園の園長を勤めていた恩師、現理事である戸田正彦氏のアドバイスを受けながら、山梨県を始め各関係機関の皆さまの多くの賛同を受け、平成8年に「社会福祉法人さかき会設立準備会」として福祉への3者の「想い」は動き出したのです。

創業後のターニングポイント 「想い」から「実現」へ

「施設」を創るにはまず法人格を取ること。当時の措置制度時代は条件が厳しいものでした。私と栗原早苗氏で創設資金を、福祉施設の建設用地として私所有の宅地を法人へ寄付することを条件に国や県並びに関連機関に施設建設資金助成の行脚を続け、準備会の立ち上げから4年の歳月が流れました。平成11年6月16日、ようやく山梨県から「社会福祉法人さかき会」の設立認可、そして翌年の4月に知的障害者通所授産施設「みらいコンパニー」を開所することができました。「障がい者のため理想的な施設を」今でも初めの想いは変わりません。

苦労したからこそ生み出された「仲間(コンパニー)」と「慣性の法則の意図的打破」

時代の変化に自ら変化できるかに尽きます。奇しくもみらいコンパニー開所と同時に自分の生き方によって福祉サービスを選択「社会福祉基礎構造改革」が始まり、守られてきた「措置」から利用者主体による「契約」による事業「経営」へと改定されることとなりました。守られてた「措置」から「経営」への時代の変化。この19年間、常に社会福祉法人のあり方そのものに変化が求められてきました。設立当初から「仲間」である「地域」と活動をつくる「他者連携型」の考えを大切にしながら、生み出されたのが私たちの合言葉もある「慣性の法則の意図的打破」でした。

慣性の法則の意図的打破とは

自らの「成長」のため外へ行動することです。今居る心地の良い「コンフォートゾーン」の中に居ながら自分や自社を成長させることはほとんど不可能です。外へ出ることで起きる「違い」に慣れ、それを楽しむようにする。自分の限界を押し広げていけば、人生はもっと面白くなる。コンフォートゾーンの外へ出てみれば、自分の邪魔をするものはほとんど存在しないことが理解でき、毎日成長をしたいと思うようになるはずです。

サイトからもご覧いただけます。



さかき会Webサイト
<http://sakakikai.com/>

時代の変化に
自ら変化できる
『仲間(コンパニー)』
のチカラ。

今般、関係各位の皆様方からご指導ご協力を賜りまして本年6月、目出度く社会福祉法人さかき会創設20周年を迎えることが出来ました。本来なら関係者の方々には拝顔の上御礼申し上げるべきではありますが、この記念誌発行の機会に役職員を代表し、皆様のご指導ご協力に対しまして、心より感謝申し上げ厚く御礼申し上げます。さて、本会が提供する各種福祉サービスは、ご利用される方々のために存在するものであることを常に考えながら、そのサービスを喜んで受け入れて頂けるよう役職員共有しながら今日まで創意工夫を重ねてきました。振り返りますと、法人創設以来20年間は社会構造の変容に対応するべく国の社会福祉法等の整備が始まり社会保障制度や社会福祉法人制度等は大きく改正されました。しかし本法人創設の想いは不变であり、その想いを実現させるためには、人材こそがサービスの命であることを強く意識し人材育成に努め多くの御利用者の皆様方のご要望にお応えできるよう邁進していく所存です。今後ともご理解を頂き倍旧なるご支援ご協力お願い申し上げます。

令和元年6月吉日
社会福祉法人 さかき会 理事長 横内正彦



総合施設長
栗原 早苗



創立のきっかけは何ですか?
急に思いついたわけでなく
長い間かけて熟したもの

30数年間、県立の大型施設で働く中、私はどうしても「普通に暮らすこと」ができない人たちの心の痛みや悲しみを何度も感じ味わってきました。

時代は入所から在宅(地域)へ。保護から支援へ。

新しい時代の波の中で温めてきた想い。創立の10年ほど前から「ご利用者と家族が共に暮らせる整備と支援を実現化したい」という確信と最後の異動先福祉事務所で「あの人たちの声が全くしない」違和感から「やるなら今だ」と踏ん切りをつけました。

長い入所施設生活から自分の「地域移行」実行。それが私の始まりです。

創業後のターニングポイント
多様性を認め合える社会と
施設づくりを目指したこと

私たちが目指したのは多様性を認め、誰もが当たり前に暮らせる社会と環境を整えることでした。「温かみのある純木造建築」「個の違いを尊重したきめ細やかな支援」「地域の中で活動できる場の提供」など社会の中で繋がり互いに活きるよう支援してきました。

感謝している大切な人

横内理事長夫妻と戸田理事の存在です。夫の友人でもある横内氏には法人立ち上げの際に施設や土地の工面を。戸田氏は元上司。福祉業界の牽引役であり、福祉の多くを学びました。みなさんとの出会いがなかったら今はなかった。感謝。

苦労した点は?

措置から支援制度へ変わった時、利用者負担増加による活動参加の差が無いよう、支援の質の維持に苦労しました。今では自分で働き、収入を得ることで自己負担自体が「働くことへの意欲」につながリプラスに働いています。

法人概要(概略)

【平成8年～平成11年 社会福祉法人設立準備会(以下、敬称略)】

代表者 横内正彦
会員 栗原早苗、戸田正彦、横小路輝一、望月雄三、新津 齊
横小路 武、山本武彦、野中真佐美、栗原義彦、横内美津子
平成11年6月16日 社会福祉法人さかき会認可

【創設当初の役員】

理事長 横内正彦
理 事 栗原早苗、戸田正彦、横小路輝一、望月雄三、新津 齊
横小路 武、山本武彦、野中真佐美
監 事 花輪秀一、窪田久人

①法人認可年月日:平成11年6月16日

本部住所 山梨県南アルプス市上宮地1143番地

②知的障害者通所授産施設「みらいコンパニー」認可:平成12年3月31日

施設住所:山梨県南アルプス市上宮地1143番地

③知的障害者(児)短期入所認可:平成13年7月30日

【ばけっとはうす】住所:山梨県南アルプス市上宮地478番地

⑤知的障害者地域生活援助事業:平成14年11月1日

【みらいホーム】住所:山梨県南アルプス市上宮地1143番地

⑥一時養護サービス(公益事業)認可:平成15年2月13日

さかき会
ご利用者様
ご祝辞

SAKAKIKAI 20th Anniversary
その人らしく生きるしあわせ
Sonohitorashiku

全てを受け取ってくださった皆さんに感謝

二十周年、おめでとうございます。

時が経つのは早いものです。私達親子がさかき会にお願いにあがりましたのが、みらいコンパニー開設の時でした。それ以前は、息子は入所施設おりました。親としては独り立ちできることを願い、親元から離して良いものかと迷い息子の心の中を専門家に見て頂き、相談しながら入所させて頂いたのですが、一長一短でした。盆暮の帰省の時など迎えに行きますと明るくよく話しながら家に帰りましたが、送って行く時は一言も口を利く事もなく、どれほど寂しい思いをさせていたのか親として辛い時でもありました。そのような折、通所施設みらいコンパニーにお世話になりました。開所式では息子が挨拶をさせて頂く姿に今までとは違う頬もしさと明るさを感じました。そして十年間の暮らしの中、仲間とのバス旅行、野菜の植付、料理、音楽会等々振り返れば思い出がいっぱいです!そのような中で息子の行動に悩んでいた時、園長先生はじめスタッフの方々が「良い所も困った所もひっくるめての息子さんですから、良い所は伸ばし困った所はだんだん無くなれば良いではないですか」と全て受けとめてくださったことに親として本当に救われました。息子も体の具合が悪くても行くというほどみらいコンパニーが大好きでした。親として今でも心から感謝しております。

これからも「その人らしく生きるしあわせ」のために、お体に気を付けられて御尽力くださいます
ようお願い申しあげます。

石川 恵美子(故石川 佳央さん母)

サイトからもご覧いただけます。



さかき会Webサイト
<http://sakakikai.com/>

「個」の違いを認め、互いに活きて
このしあわせの和を
つなぎ、育むことが
私たちの志命です。

言がまかり通ることこそ危険を感じます。
時代の流れをキャッチし、新しいことへの着眼と、それを形に出来る人材と何をすべきか
私達に教えてくれるメンバーさん達と一緒に
なって、また次の新しいことにチャレンジしよう
と思います。

ぜひ私達の活動につながっていただければ
嬉しいです!!

Column
総合施設長コラム

さかき会広報誌「こんぱにい」Vol.41から抜粋
『みんなでつながる
~広がる~ずーっとこれからも…』



時を刻んで、もう20年になろうとしています。
小さな20人定員の通所授産施設。措置時代
は終わり、新たに契約なるものが入りこむ事が
分かっていた時代。嵐の海へ小さな舟をこぎ出
した私達。予測していた通りゆれながらもしつ
かり進んできました。今、私達のまわりにはたく
さんのあたたかい人の輪ができました。「コンパ
ニー」はフランス語。上も下もなし。みんな同じ
で一緒に手をつなぎ、一つの輪になろう!その
思いをこめてつくった居場所です。

そして今、

20人が259人に(利用者・児)
7人が39人の(職員)
3,000円が21,000円超に(平均工賃)
3種類がざっと40種
(数えきれない)(作業・活動・創作品等)

まだまだ他に増えている……

大きくなることがよいことは思いませんが、
この実践と実績から確実に前進していると自
負しています。それは何故か…それは一番大
切にしているぶれないものがあるから。
「個」の違いを認め合い持っている力をいかに
引き出し活かせるか、その一点を軸にして活動
展開をしてきたら必然的に成了結果ともいえ
ます。その陰にいつも知恵と工夫を怠らない職
員集団の力もあります。ほんの一例~人が居る
所は苦手。でもここでの仕事は好き。休憩や昼

食時間がつい……そんな人達も増えている。
そこで考えたのは、外の空地に鉄パイプでキャ
ンプ風居場所づくり、アウトドア風椅子とテーブ
ル、それにハンモックつき、思い思いのスタイル
で交わらなくて済むようにとすごした毎日通つ
ぐことが出来てます。
「こんなこと社会では通じないよ!」の声も聞
こえるけど、「共生社会」っていうこんな違った人
達をはじき出すのではなく、みんなが自然に生
きていく社会。「生産性のない…」という発

福祉と伴に歩む

History of Sakakikai



1999年の法人設立以来、私たちは
その人らしく生きる「しあわせ」のために
努力と実践をかさねてきました。

今に至るまで福祉施策は変化を続けていますが、
私たちの「想い」は変わることはありません。
施策の不満を嘆くばかりではなく、よく吟味し上手に料理しながら
その人らしい「しあわせ」を創ること。
慣れすぎず、変ることへの自信と勇気を持って
多くの人たちと手を繋ぎ暮らせる取り組みを
これからも皆さまと一緒に進めていきたいと思います。



2003年～2006年: 支援費制度

2004 2005

2007年～: 障害者自立支援法

2006 2007

10 years
2009 2010 2011

2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019

福祉の歴史とさかき会

1999 2000

2001 2002

2003

2004 2005

2006 2007

2008

2009 2010 2011

2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019

●1999年6月16日
「社会福祉法人さかき会」認可・設立
住所: 中巨摩郡檍形町上宮地1143番地

●2000年4月1日
心身障害者通所授産施設「みらいコンパニー」開設
住所: 中巨摩郡檍形町上宮地1143番地

●2001年7月30日
「知的障害(児)短期入所事業」認可
みらいコンパニー内



Aさんの生活

●2001年7月
県立の養護学校を卒業



◆みらいコンパニーでの
作業風景



障害福祉サービス事業所
『みらいコンパニー』

障害福祉サービス事業所
『みらいファーム』

サイトからもご覧いただけます。



さかき会Webサイト
<http://sakakikai.com/>



◆みらいコンパニーではご利用者の作業の一環として薪の製造販売を行っています

2015年～: 障害者総合支援法

2012年～: 障害者優先調達推進法

20 years
2019

日中一時支援事業「でんではうす」
(定員:10名 契約者:30名)

福祉有償運送「ばけっとはうす」
(国土交通省事業 契約者:79名)



●2012年4月
法人の中長期計画で
工賃5万円計画をスタート



●2007年
町内に開設したグループホームで約1ヶ月間体験利用するが、
本人が「家で暮らしたい」と希望し、本利用に至らず。

●2007年
スペシャルオリンピックスのボウリングに参加。



共同生活援助
『みらいホーム』



相談支援事業所
『ばけっとはうす』



放課後等デイサービス
『あそぼ』



日中一時支援事業
『でんではうす』

福祉有償運送
『ばけっとはうす』

皆さんと一緒に歩んできた私たちの歴史は
この並ぶ時計の意味と同じです。



『みらいコンパニー』

さかき会の
事業・施設紹介
JIGYO・SHISETSU

サイトからもご覧いただけます。



さかき会Webサイト
<http://sakakikai.com/>



事業内容 【生活リズムを整えたり働く場、就職支援の受けられる場】

- “生活介護事業”では食事の介助や生活力の向上、体験の拡充のための活動(音楽表現・ウォーキング・調理実習・座禅・パステル画・3B体操など)の機会を提供します。
- “就労継続支援事業B型”では作業や趣味を通して、継続して働く力が身につくよう支援しています。
※主な作業(農作業・薪作業・弁当調理販売・内職作業等)
- “就労移行支援事業”では一般企業(会社)への就職のための訓練を行います。
仕事に対する心構えから作業技術の習得までが実践的に行われます。

活動の様子はFacebookをご覧ください

■ みらいコンパニーFacebookページ

<https://www.facebook.com/miraicompany/>

みらいコンパニーでは薪の販売を行っています

■薪の販売ページ[山梨の薪]

<http://sakakikai.com/maki/>

障害福祉サービス事業所

『みらいコンパニー』

〒400-0312
山梨県南アルプス市上宮地1143
TEL:055-283-7733

◎開設 平成12年4月1日

◎定員 37名

生活介護事業13名
就労継続支援事業B型18名
就労移行支援事業6名

活動の様子はFacebookをご覧ください

■ みらいファームFacebookページ

<https://www.facebook.com/yamanashi.showa/>

『みらいファーム』



オリジナルブランド
『サンセリテ』
「サンセリテ」 Sinceriteはフランス語で、「真実」「真心」。当法人のシンボルである風見鶏をモチーフとしています。太陽の恵みをまっすぐに受けた素材からメンバーの心が込められた商品。手にとったお客様が一緒に喜んでくれるようエールを込められたブランドです。



自 動
分 ら し く
暮 ら す こ と の 楽 し さ 。
働 い て 、 そ の 稼 ぎ で



▲富士山を一望できる環境
の昭和町の「みらいファーム」。ハウス栽培やもち麦の栽培や販売を行っています。



事業内容 【生活リズムを整えたり働く場】

- “生活介護事業”では食事の介助や生活力の向上、体験の拡充のための活動(音楽表現・ウォーキング・調理実習・座禅・パステル画・3B体操など)の機会を提供します。

- “就労継続支援事業B型”では作業や趣味を通して、継続して働く力が身につくよう支援しています。
※主な作業(農作業・花栽培・販売作業等)



障害福祉サービス事業所

『みらいファーム』

〒409-3861
山梨県中巨摩郡昭和町紙漉阿原1808-2
TEL:055-275-6555

◎開設 平成17年4月1日

◎定員 20名
生活介護事業10名
就労継続支援事業B型10名

サイトからもご覧いただけます。



さかき会Webサイト
http://sakakikai.com/



事業内容 【障がい児(者)の一時預かりの場】

家族の一時的な休息を目的として障がい者・児の日中活動の場を確保し、預かりの場を提供します。預かるだけでなくレクレーションなど余暇的な活動支援、放課後の学習支援などを行います。

日中一時支援事業

『でんでんはうす』

〒400-0308
山梨県南アルプス市山寺1095-5
TEL:055-283-7754

○開設 平成26年5月1日
○定員 10名

放課後等ディサービス

『あそぼ』



事業内容 【障がい児の放課後や休日活動の場】

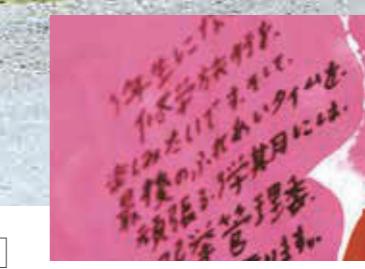
- 遊びやレクリエーションを通して、楽しく過ごしながら学んでいけるプログラム(療育)を提供しています。
- 書道、工作から農作業までいろいろなプログラムが組み込まれています。
- ここでのプログラムは、日常生活における基本的動作の指導や集団生活への適応訓練を行うことが目的です。

放課後等ディサービス

『あそぼ』

〒400-0308
山梨県南アルプス市山寺1095-5
TEL:055-283-7754

○開設 平成17年2月15日
○定員 10名



大切な基礎をつくること。
自分らしく生きる
地域での暮らしは
『みらいホーム』



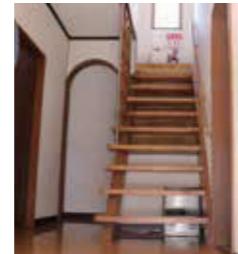
サイトからもご覧いただけます。



さかき会Webサイト
<http://sakakikai.com/>

事業内容 【障がい者の住まいの場】

障がいのある人たちが住みなれた地域の中で
地域の人たちと交わりながら生活を営む家＝みらいホームです。
そこでは世話人が日常生活の援助を行い自立を支援します。
みらいホームに生活しながら、
日中活動の場(会社や福祉事業所)に通います。
プライバシーを保護し、
各々のニーズに寄り添った支援を目標としています。



共同生活援助

『みらいホーム』

〒400-0222
山梨県南アルプス市飯野3574-8
TEL:055-283-7733

○開設 平成14年11月1日
○定員 4名

夢に近づく第一歩は、
共に成長できる
環境をつくること。

『ぽけっとはうす』



事業内容 【障がい児(者)が相談できる場】

本人中心の生活実現へ…近所の相談支援事業所へ

「叶えたい夢」「生活のしづらさ」をお聞きしながら、一緒に悩み、考え、夢に近づく一歩や解決の糸口を一緒に探していくます。人生の途中に少しだけ同じ時間を一緒にさせていただけたらと思っております。また、「福祉サービスを利用したい」という時に必要になる、「サービス等利用計画」を作成することができます。

一人で悩まず、家族だけが悩まず 平成14年11月1日
地域のみんなで考えたい…

相談支援事業所

『ぽけっとはうす』
〒400-0308
山梨県南アルプス市山寺1095-5
TEL:055-225-4478

○開設 平成19年11月1日

障がいのある人たちの移動の方法の確保のための事業。



福祉有償運送

『ぽけっとはうす』
〒400-0308
山梨県南アルプス市山寺1095-5
TEL:055-225-4478

○開設 平成15年2月13日

しあわせの樹 ～みんなの感謝のことば～

Kansya no Kotoba

20年前時計台のあるモダンな施設『みらいコンパニー』が誕生した時、知的障害者の地域支援を支援する一本の柱が生まれ利用者が持てる力を発揮できる光の場所のように感じられました。

施設が高い経営理念を掲げ緩み無く歩きを進めた今、支援の柱も大きく数も増えました。

施設を訪れると皆が笑顔で迎え入れ、明るい雰囲気の中、真剣な表情で作業をする姿に、施設が地域の核となり様々な支援を提供することで利用者が“幸せ”を感じる生活を維持できるようになったと思いました。

多様化する生活を支援するために躍進し続けていることに拍手を送ります。

元育精福祉センター地域療育等支援事業コーディネーター
小沼 加與

もうひとり、しょうじんはらみつのにじゅうせいそう
亡己利他、精進波羅蜜の二十星霜、
社会の一隅を照らすは、国の宝なり、
祝賀いたします。

元理事 現運営協議会委員
梅本 澄雄

サイトからもご覧いただけます。



さかき会Webサイト
<http://sakakikai.com/>

私たちのよろこび。
みんなの希望に満ちた
みんなの『笑顔』こそが

創立20周年おめでとうございます。
これからも、よりよい生活がおくられる
環境、支援づくりを進めていってほしい
と願っています。

初代夢プロジェクト代表
秋山 不二子

20周年おめでとうございます。
これからも、笑顔あふれる場所を!

評議員
相原 かおり

みらいへ
できることが増えています。
たくましくなっています。今日もやるぞ。
第三者委員
島崎 進

障害者福祉の一歩二十年
「志のある者、事業(ことつい)に成る」
感無量です。更なる発展を祈ります。

元評議員
近藤 芙美枝

どの子も持っている可能性を最大限
引き出し、常に前進を続けていた
みらいの職員とメンバーさんの未来に
幸あれ。おめでとうございます。

元理事 現運営協議会委員
野中 真佐美

みらいはつくるもの ～次世代対談～

MIRAI wo TSUKURU

PROFILE



障害福祉サービス事業所『みらいコンパニー』
所長
横内 幹

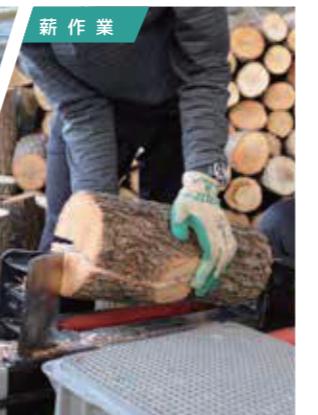
【信念・大切にしていること】
守るものは守りながら、常識を常識と考えない。

PROFILE



障害福祉サービス事業所『みらいファーム』
所長
中村 光輝

【信念・大切にしていること】
現在(いま)に満足せず、向上・改善心をもつこと。



みらい授産(生産活動)事業・作業

ショッピング事業

農産物事業

薪作業

Q

理事長、総合施設長より学んだこと、感謝していることは？

異業種でこの法人を立ち上げたバイタリティー、働くことへの誇らしさもすごいのですが、特に一緒に共に過ごすことの大切さを知りました。自分も一緒に、作業や活動をしたり同じ目線で共感したり、良い距離感でそんな二人にはメンバーさんが慕ってきます。どんなに他人の小さな「幸せ」でも自ら動き共有することで、自分やみんなの幸せにつながることを学びました。

サイトからもご覧いただけます。



■ さかき会Webサイト

<http://sakakikai.com/>



Q

新しい仲間へメッセージをお願いします。

自分を飾らず、背伸びせず、1日幸せに過ごせたなと思える職場でありたいと思っています。今いる自分と仲間に感謝したいと思います。「人の幸せ」につながることに対して常識はありません。自分の中の常識を外し模索と挑戦を続けていきましょう。

Q

地域の方に感謝していることは？

法人内の人だけでなく、外部の人たちとチームを作ることにあたることは大変やりがいを感じています。例えば、南アルプス市の地域性を教えてもらったり、また作業からみで地域の人たちに協力してもらっていることには日頃から感謝しています。

『笑顔』になることで
周りの人も
幸せな笑顔ちになる。

PROFILE



放課後等デイサービス『あそぼ』
相談支援事業所『ぱっくとうす』

管理者／児童発達管理責任者

秋山 静香

【信念・大切にしていること】
想いや願い“そして”楽しさ!!



Q

ご利用児者の皆さんから学んだこと、感謝していることは？

ご利用者の皆さんからは常に教えられっぱなしです。自分の周りにある社会で精一杯生きているんだな。と思われる。年齢なんか関係ない。何か好きなことを一生懸命やっている感性や感覚に「素敵」さを感じています。

これからのお客様の皆さんへメッセージをお願いします。

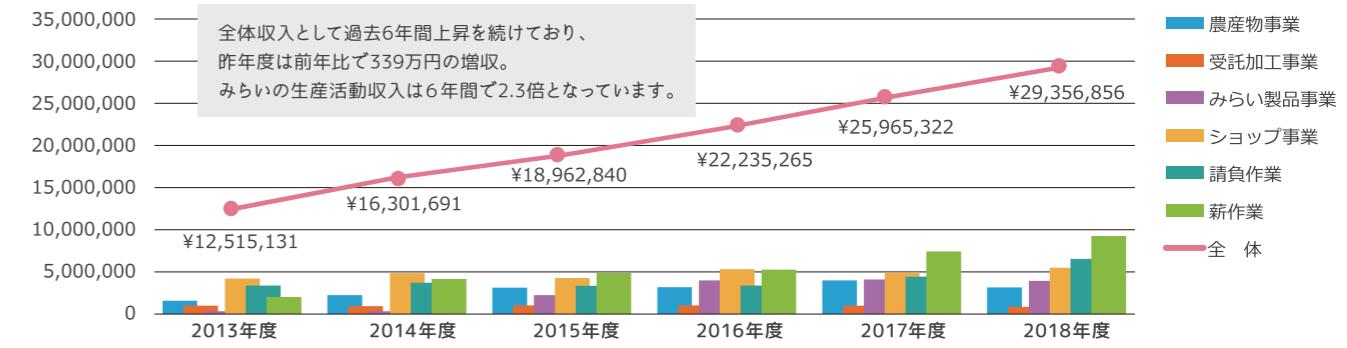
今のご利用者の皆さんからはいつも笑顔、幸せをもらっています。自分が幸せになりたいのであれば、周りの方が笑顔でいられる居場所が大切です。一緒に楽しみながら、歩みましょう。

Q

全体収入として過去6年間上昇を続けており、昨年度は前年比で339万円の増収。

みらいの生産活動収入は6年間で2.3倍となっています。

2018年度みらい授産(生産活動)収支と工賃の状況について





さかき会Webサイト
<http://sakakikai.com/>



『仲間』のみなさんへ
コンパニー

①次代を考慮した継承

時代は多様性を認め「調和」の社会へと変化しました。
当法人と地域の特性を活かした
「次代」を創出する事業・施策にチャレンジします。

②ご利用者と「伴」に成長する環境づくり

職員の枠にとらわれず、共感・調和できる
信念を持ち、自立した人財へ成長できる
環境づくりを整備いたします。

③地域社会との新しい繋がりの構築

個人:団まれた措置から、自分らしい「しあわせ」を共有し、
生活者のみなさんとともに暮らしを築きます。
法人:国から守られてきた法人の脱却から、
「しあわせ」を好循環できる社会を地域と共に築きます。

はじめは20人からのスタート。

今では多くの人が集まってくれました。

これからは第2段階。

皆さんのように若い世代が時代の波を上手に料理しながら

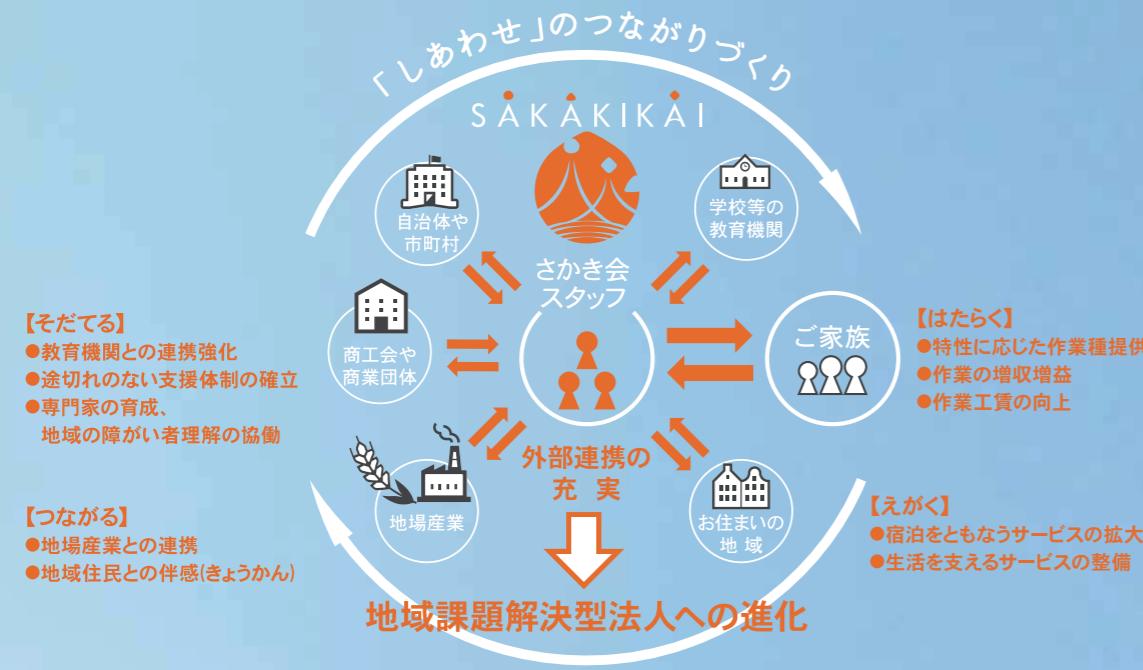
私たちとは全く違った方策で

持続可能なさかき会を創ってもらいたいと想います。

いい人財がそろっています。

目標を見失わず、これからもつながってもらいたい。

そしてこの先の10年後が楽しみです。



SAKAKIKAI